

2010年10月口之島・中之島における昆虫記録

金井 賢一・守山 泰司

鹿 児 島 県 立 博 物 館
KAGOSHIMA PREFECTURAL MUSEUM
KAGOSHIMA, JAPAN

2010年10月口之島・中之島における昆虫記録

金井賢一* ・ 守山泰司**

The recorded insects on Kuchino-shima and Nakano-shima (Tokara Islands) in October of 2010

Kenichi KANAI* and Taiji MORIYAMA**

はじめに

2010年10月に筆者らは口之島および中之島の昆虫を調査する機会を得た。ここにその結果を公表する。

十島村は2004年に昆虫保護条例が制定されたことにより、記録の蓄積が難しくなっている。そこで県立博物館では基礎情報の収集・発表を目的とした調査を継続している。また守山・中峯（2010）が注目してきたタイワンツバメシジミ、ヒメシルビアシジミについても、注意深く観察したので、その結果もあわせて報告する。

なお、今回の調査のために便宜を図っていただいた十島村に深く感謝すると共に、記録の発表が遅れていることをお詫びする。

・アオスジアゲハ *Graphium sarpedon*
多数目撃

各地に普通に見られた。

・アゲハ *Papilio xuthus*

前之浜（10月2日，1♂1♀1幼虫→12月4日♂羽化）

・ナガサキアゲハ *Papilio memnon*

前之浜（10月2日，1♀）

・モンキアゲハ *Papilio helenus*

岩屋口（10月3日，1♀）

各地に普通。

・カラスアゲハ *Papilio dehaanii*

セランマ（10月2日，1頭目撃）

I 口之島調査

1 調査の日程

10月1日（金）23：50 鹿児島発フェリーとしま

10月2日（土）6：05 口之島着

西之浜漁港～口之島集落～前之浜～岩屋口～横岳～前岳～セランマ温泉～岩屋口～西之浜漁港（夕食）～セランマ温泉（灯火採集）

10月3日（日）口之島集落～前之浜～岩屋口～西之浜漁港：島内の移動は全てレンタカーにて行った。

14：15 口之島発フェリーとしま

20：30 鹿児島着

2 調査者

金井賢一：鹿児島県立博物館学芸主事

3 調査結果

チョウ目 LEPIDOPTERA

※は注意したが見つからなかった種類

アゲハチョウ科 Papilionidae

シロチョウ科 Pieridae

・キタキチョウ *Eurema mandarina*

前岳（10月2日，1頭目撃）

他には見なかった。

※ツマベニチョウ *Hebomoia glaucippe*

小学校の裏庭にあったギョボクを探したが、卵・幼虫・蛹など全て見つからなかった。

シジミチョウ科 Lycaenidae

・ウラナミシジミ *Lampides boeticus*

前之浜（10月2日，1♀）

・ヤマトシジミ *Zizeeria maha*

前之浜（10月2日，2♂），岩屋口（10月3日，1♂1♀）

各地に多く見られた。

・ヒメシルビアシジミ *Zizina otis*

前之浜（10月2日，2♂2♀），（10月3日，1♂1♀）

ヘリポートなど食草のヤハズソウが生えている場所をかなり調べたが、他の場所では見つからず、

* 鹿児島県立博物館：〒892-0853 鹿児島市城山町1-1

** 鹿児島昆虫同好会

前之浜にある海岸沿いの草地からのみ得られた。

※タイワンツバメシジミ *Everes lacturnus*

食草であるシバハギ群落は、一周道路のうち島の南東部付近にはまとまってみられたが、花芽を付けているものが少なかった。時期が早いのではなく、シバハギ自体が開花できなくなっているようであった。琉球列島産昆虫目録(2002)では、口之島にタイワンツバメシジミの分布が示されている。しかし、筆者による文献調査では、この記録の出典が確認できなかった。



ヒメシルビアシジミの見られた前之浜の草地



ヒメシルビアシジミが見られたヤハズソウ



(左) シバハギ群落と(右) シバハギの花穂
花穂自体が少なく、また開花までだいぶ日がかかるとされる発達具合

テハチョウ科 Nymphalidae

・アカタテハ *Vanessa indica*

前之浜(10月2日, 1♀), 岩屋口(10月3日, 1♂)

・ルリタテハ *Kaniska canace*

前之浜(10月2日, 1♀)

神社の脇を数匹がテリトリー争いのように飛んでいた。

・リュウキュウムラサキ *Hypolimnua bolina*

セランマ(10月2日, 1♀:台湾型)前之浜(10月2日, 3♂:フィリピン型),

・リュウキュウアサギマダラ *Ideopsis similis*

セランマ(10月2日, 1♂)

他には見ていない。

・カバマダラ *Anosia chrysippus*

前之浜(10月2日, 1♂)

セセリチョウ科 Hesperiiidae

・クロセセリ *Notocrypta curvifascia*

岩屋口(10月3日, 1 ex.)

他には見ていない。

※クロボシセセリ *Suastus gremius*

ヤシ類で卵~幼虫を探したが確認できなかった。

マダラガ科 Zygaenidae

・オキナワリチラシ *Eterusia aedeia*

セランマ(10月2日, 7♂)

メイガ科 Pyralidae

・キンモンノメイガ *Aethaloessa calidialis tiphalis*

前之浜(10月2日, 1 ex.)

・マエアカスカシノメイガ *Palpita nigropunctalis*

セランマ(10月2日, 1 ex.)

・ミツシロモンノメイガ *Glyphodes actorionalis*

セランマ(10月2日, 1 ex.)

カギバガ科 Drepanidae

・アカウラカギバ *Hypsomadinius insingns*

セランマ(10月2日, 1 ex.)

スズメガ科 Sphingidae

・ホシホウジャク *Macroglossum pyrhosticta*

前之浜(10月2日, 1 ex.)

シャチホコガ科 Notodontidae

・ホリシャシャチホコ *Syntypistis subgeneris*

セランマ (10月2日, 5 exs.)

1 ♂)

ヒトリガ科 Arctiidae

- ・クワゴマダラヒトリ *Lamyra imparilis*
セランマ (10月2日, 2 ♂ 2 ♀)

ヤガ科 Noctuidae

- ・アシブトクチバ *Parallemelia stuposa*
セランマ (10月2日, 1 ex.)
- ・イナズマヒメクチバ *Mecodina albodentata*
セランマ (10月2日, 2 exs.)
- ・ウスオビクチバ *Mocis frugalis*
セランマ (10月2日, 1 ex.)
- ・オオトモエ *Erebus ephesperis*
セランマ (10月2日, 1 ex.)
- ・オキナワアシブトクチバ *Bastilla arcuata*
セランマ (10月2日, 1 ex.)
- ・キンモンエグリバ *Plusiodonta coelonota*
セランマ (10月2日, 2 exs.)
- ・クロスジユミモンクチバ *Melapia japonica*
セランマ (10月2日, 1 ex.)
- ・コフサヤガ *Eutelia adulatricoides*
セランマ (10月2日, 1 ex.)
- ・タイワンキシタアツバ *Hypena trigonailis*
セランマ (10月2日, 1 ex.)
- ・ハガタクチバ *Daddala lucilla*
セランマ (10月2日, 2 exs.)

バッタ目 ORTHOPTERA

ツユムシ科 Phaneropteridae

- ・ヒメクダマキモドキ *Phaulula macilenta*
セランマ (10月2日, 1 ♂)

コオロギ科 Gryllidae

- ・タイワンエンマコオロギ *Teleogryllus occipitalis*
セランマ (10月2日, 1 ♀)

オンブバッタ科 Prygomorphidae

- ・オンブバッタ *Atractomorpha lata*
セランマ (10月2日, 1 ♂ 1 ♀)

バッタ科 Acrididae

- ・トノサマバッタ *Locusta migratoria*
前之浜 (10月2日, 1 ♀)
- ・マダラバッタ *Aiolopus thalassinus tamulus*
セランマ (10月2日, 1 ♀), 前之浜 (10月3日,

アミメカゲロウ目 NEUROPTERA

カマキリモドキ科 Mantispidae

- ・カマキリモドキの一種

セランマ (10月2日, 3 exs.)

琉球列島産昆虫目録 (2002) では、カマキリモドキ科はツマガロカマキリモドキ *Climaciella quadrituberculata* (本州~沖縄, 台湾・フィリピン・ベトナム・ジャワ・北インド) と、オオイクビカマキリモドキ *Euclimacia badia* (石垣, 西表, 台湾), および和名のない種 *Mantispa transversa* の3種が記録されているが、研究が進んでいない分野だろう。今後しかるべき人に同定を依頼する必要がある。

ウスバカゲロウ科 Myrmeleontidae

- ・ウスバカゲロウの一種

セランマ (10月2日, 3 exs.)

琉球列島産昆虫目録 (2002) では、ウスバカゲロウ科が8種類掲載されているが、検索できる情報を得られなかったために同定できなかった。

ハチ目 HYMENOPTERA

ベッコウバチ科 Pompilidae

- ・キバネオオベッコウ *Cyphononyx dorsalis*
前之浜 (10月2日, 1 ex.)

ツチバチ科 Scoliidae

- ・ヒメハラナガツチバチ *Campsomeriella annulata*
前之浜 (10月2日, 1 ♂ 1 ♀)

アナバチ科 Sphecidae

- ・クロアナバチ *Sphex argentatus*
前之浜 (10月2日, 1 ex.)

ハキリバチ科 Megachilidae

- ・オキナワバラハキリバチ *Megachile okinawana*
前之浜 (10月2日, 1 ex.)

コシブトハナバチ科 Anthophoridae

- ・スジボソフトハナバチ *Amegilla florea*
前之浜 (10月3日, 1 ex.)

ヨコバイ目 HOMOPTERA

セミ科 Cicadidae

- ・クロイワツクツク *Meimuna kuroiwae*
セランマ (10月2日, 2♀), 前之浜 (10月2日,
1♂1♀)
集落内でもよく鳴いていた。



集落内で鳴いていたクロイワツクツク

カメムシ目 HETEROPTERA

ヘリカメムシ科 Coreidae

- ・ホオズキヘリカメムシ *Acanthocoris sordidus*
前之浜 (10月2日, 1 ex.)
- ・ホシハラビロヘリカメムシ
Homoeocerus unipunctatus
セランマ (10月2日, 1 ex.)

カメムシ科 Pentatomidae

- ・タイワントゲカメムシ *Carbula crassiventris*
前之浜 (10月3日, 1 ex.)
- ・チャバネアオカメムシ *Plautia crossota stali*
セランマ (10月2日, 1 ex.)
琉球列島産昆虫目録 (2002) では、トカラ列島の記録は諏訪之瀬島のみとされている。
- ・ヨツボシカメムシ *Homalagonia obtusa*
セランマ (10月2日, 2♂1♀)
琉球列島産昆虫目録 (2002) では、琉球列島に記録が無いようである。

ツノカメムシ科 Acanthosomatidae

- ・モンキツノカメムシ *Sastragala scutellata*
セランマ (10月2日, 1 ex.)

II 中之島調査

1 調査の日程

- 10月1日 (金) 23:50 鹿児島発フェリーとしま
- 10月2日 (土) 7:10 中之島着
高尾～里村～荷積崎～船倉～寄木～里村～高尾
- 10月3日 (日) 高尾～楠木～里村～船倉～寄木:
調査は全て徒歩で行った。
13:10 中之島発フェリーとしま
20:30 鹿児島着

2 調査者

- 守山泰司: 鹿児島県立博物館外部協力者, 鹿児島昆虫同好会会員
- 守山小百合: 鹿児島県立博物館外部協力者, 鹿児島昆虫同好会会員

3 調査結果 (※は今回記録できなかった種)

アゲハチョウ科 Papilionidae

- ・アオスジアゲハ *Graphium sarpedon*
高尾～里村 (10月2日, 1♀)
各地に普通に見られた。タブノキ?の新芽に産卵中の個体を目撃。
- ・アゲハ *Papilio xuthus*
高尾 (10月2日, 1♂)
ほかに少数目撃。高尾の牧場脇の日当たりのよいカラスザンショウの幼木より2～3齢幼虫6頭採集。鹿児島市内の屋内で飼育したところ, 11月に1♂1♀が羽化し, 4頭は休眠蛹となった。
- ・ナガサキアゲハ *Papilio memnon*
里村 (10月3日, 1♀)
高尾～里村にはみかん畑があり, 数頭を目撃している。
- ・モンキアゲハ *Papilio helenus*
高尾～里村 (10月2日, 1♂1♀)
各地に普通。高尾～里村の道路沿いの林縁のハマセンダン, およびカラスザンショウの幼木に卵～終齢幼虫が普通に見られた。Papilioの卵～1齢幼虫を8頭採集したが, そのうち6頭が本種で, 鹿児島市内の屋内で飼育したところ, すべて休眠蛹となった。
- ・クロアゲハ *Papilio protenor*
高尾～里村の道路沿いの林縁のハマセンダン, およびカラスザンショウの幼木より採集したPapilioの卵～1齢幼虫8頭のなかの1頭が本種で, 鹿児島市内の屋内で飼育したところ, 11月に

1♂が羽化した。成虫は見られなかった。

- ・カラスアゲハ *Papilio dehaanii*
高尾～里村（10月2日，2♀），里村～荷積崎（10月2日，1♀），楠木（10月3日，1♂）
時期的なものか，少なかった。高尾～里村の道路沿いの林縁のハマセンダン，およびカラスザンショウの幼木より採集した *Papilio* の卵～1齢幼虫8頭中の1頭が本種で，鹿児島市内の屋内で飼育したところ，休眠蛹となった。

このほかアゲハチョウ科では，シロオビアゲハの記録があるが確認できなかった。

シロチョウ科 Pieridae

- ・キタキチョウ *Eurema mandarina*
高尾～里村（10月2日，2♂），寄木（10月3日，3♂1♀）
少なかった。採集した♀は未同定のマメ科木本に産卵中であった。

この他シロチョウ科では，ツマベニチョウ，モンシロチョウ，スジグロシロチョウの記録があるが確認できなかった。

シジミチョウ科 Lycaenidae

- ・ムラサキツバメ *Narathura bazalus*
高尾（10月2日，3♂2♀）
高尾のグランド脇にマテバシイが数本植栽されており，その樹上を飛翔する固体を多数目撃した。土用芽にとまる複数の♀を見かけたが，卵～幼虫は見られなかった。そのほかでは見かけなかった。
- ・ヤマトシジミ *Zizeeria maha*
高尾（10月2日，5♂5♀）
各地に普通に見られた。
- ・タイワンツバメシジミ *Everes lacturnus*
高尾（10月2日，5♂5♀）
中峯（2008）で報告された高尾のグランド周辺で見られ，継続して発生しているものと考えられる。しかしながら，その周囲に繁茂しているリュウキュウチクの繁殖力はすさまじく，人手が入らなければススキ・シバハギ群落は短期間でリュウキュウチク群落に置き換わってしまうような印象を受けた。そのほか各所の道路沿いでもシバハギは確認できたが，本種は見られなかった。
- ・ルリシジミ *Celastrina argiolus*
荷積崎（10月2日，1♂1♀）

クズ群落で少数の固体が見られた。

- ・ウラナミシジミ *Lampides boeticus*
荷積崎（10月2日，1♂1♀）
クズ群落など，各地に普通
- ・アマミウラナミシジミ *Nacaduba kurava*
高尾～里村（10月2日，1♂1♀）
モクタチバナのまわりに多数の個体が見られた。
- ・オジロシジミ *Euchrysops anejus*
寄木（10月2日，3♂3♀）
海岸のノアズキ群落でウラナミシジミとともに見られた。
- ・クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*
里村（10月3日，1♂1♀）
各地で見られたが，あまり多くはなかった。

※ヒメシルビアシジミ *Zizina otis*
本種の確認が今回の最大の目的であり，ハイメドハギ，ヤハズソウの群落を相当注意して探したが，確認することができなかった。

このほかシジミチョウ科では，ウラギンシジミ，ムラサキシジミ，タイワンクロボシシジミの記録があるが確認できなかった。また，前年鹿児島県内でも大発生したルリウラナミシジミも確認できなかった。

タテハチョウ科 Nymphalidae

- ・ヒメアカタテハ *Vanessa cardui*
高尾（10月2日，1♂）
各地で見られたが，多くはなかった。
- ・アカタテハ *Vanessa indica*
高尾～里村（10月2日，1♂1♀）
各地に普通。カラムシに卵～終齢幼虫が多数確認できた。
- ・ルリタテハ *Kaniska canace*
里村（10月2日，1♂）
ほかには見かけなかった。
- ・アオタテハモドキ *Junonia orithya*
高尾（10月2日，2♂）（10月3日，2♀），船倉（10月2日，1♂1♀），寄木（10月3日，1♂1♀）
新鮮な個体から汚損した個体まで，多数目撃した。
- ・リュウキュウムラサキ *Hypolimnua bolina*
里村（10月2日，1♀；フィリピン型），寄木（10月2日，1♂；海洋島型，1♂フィリピン型）（10月3日，5♂ フィリピン型），高尾（10月3日，

1♂；台湾型)

テリトリーを張る♂を多数目撃した。採集したフィリピン型♀から得られたF1はすべてフィリピン型であった。

・イシガケチョウ *Cyrestis thyodamas*

高尾～里村 (10月2日, 1♂1♀)

ほかには見られなかった。

・ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius*

高尾 (10月2日, 1♂1♀)

各地で普通に見られた。

・ウスイロコノマチョウ *Melanitis leda*

船倉 (10月2日, 1♂)

同所でもう1頭目撃したほかには見られなかった。

・リュウキュウアサギマダラ *Ideopsis similis*

里村～荷積崎 (10月2日, 1♂1♀)

道路わきの斜面にツルモウリンカが多数見られ、その周囲に本種が数頭見られたが、卵、幼虫は確認できなかった。

・カバマダラ *Anosia chrysippus*

船倉 (10月3日, 1♂)

このほかには見られなかった。

このほかタテハチョウ科では、テングチョウ、タテハモドキ、アサギマダラの記録があるが確認できなかった。

セセリチョウ科 Hesperidae

・クロセセリ *Notocrypta curvifascia*

高尾～里村 (10月2日, 1♂1♀), 寄木 (10月2日, 1♂1♀)

発生期だったのか、多数目撃した。

・チャバネセセリ *Pelopidas mathias*

寄木 (10月3日, 1♂)

少なかった。褐色セセリは異常といえるほど多かったが、採集した1♂を除いては、すべてイチモンジセセリであった。

・イチモンジセセリ *Parnara guttata*

高尾～里村 (10月2日, 1♂1♀)

どこでも多数見られた。

※クロボシセセリ *Suastus gremius*

ヤシ類で卵～幼虫を探したが確認できなかった。

※キマダラセセリ *Potanthus flavus*

今回確認したかった種のひとつで、かなり入念に探索した。発生期と思われたが、確認することはできなかった。

おわりに

トカラ列島の昆虫データを残すための採集を継続しているが、同定できない昆虫も多くあり、今後同定依頼を計画的に行う必要がある。

ヒメシルビアシジミとタイワンツバメシジミについては今回報告した調査の後にも継続して調査している。2011年12月には日本昆虫学会・日本鱗翅学会九州支部会での口頭発表も行い、講演要旨が日本昆虫学会九州支部会報 PULEX に掲載された (守山ら, 2011)。本書は以下のアドレスから pdf 書類で入手できる。

http://bbs1.agr.kyushu-u.ac.jp/agpm/konchuu/Pulex_No.90.pdf

詳しい内容はそちらに譲るが、今後新たなデータを加え、この地域の2種に関する動向について、近いうちにまとめる必要がある。

引用文献

守山泰司・中峯浩司・金井賢一 (2011) トカラ列島・大隅諸島におけるタイワンツバメシジミとヒメシルビアシジミ. PULEX, 90: 571.

中峯浩司 (2008) トカラ列島平島及び中之島の昆虫 (2007年秋). 鹿児島県立博物館研究報告書, 27: 83-92.

屋富祖・金城・林・小濱・佐々木・木村・河村 (2002) 増補改訂琉球列島産昆虫目録, 570pp. 沖縄生物学会, 沖縄県.